英語コミュニケーション Ι

学習の到達目標

All Aboard! English Communication I

日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、

- 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に切じて捉えたりすることができる。
 2. 必要な情報を聞き取り、書き子の意図を把握したり、概要や要点を目的に切じて捉えたりすることができる。
 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

レポート	教科書ページ	レッスン	Anith 11th	評価の3観点	A LL ALLEMAN (CO. 100 A)	学習のポイント
No.1	P20~P37	Lesson1	知識·技能 A Lesson1	思考·判断·表現 B Lesson1	主体的に学習に取り組む態度 C Lesson1	Lesson1
		Lesson2	「知識」前期の過去形を用いて次の形。原味、肝法を 理解している。上、世界の動食について多ん学科。 中好きな食べ物について、自分の考えや好み、その 理由設く程理・理解していて多ん学科。 をはないないこいて、考えや好み、その理由を設して、 なるなが加こいて、考えや好み、その理由を設していて、 なる大き族を身に打ている。また。 なる大き族を身に対している。また。 なる大きななりまたりまた。 にあるいまでは、 にあるいまでは、 にあるいまでは、 にあるいまでは、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 に	世界の前食に関いて書かれた文章について、間いたり 花んだりにたとまれりながら、好る文章につい て、毎年の意見を知り、自分の考えをえめるため に、自分の考えで好み、その理由を話したり書いたり して伝え合っている。 Lesson2 オーストラリアに生息する珍し、野生動物に同して書か れた文章について、間いたり落んだりにたとを活用し ながら、好きな動物について、相手の意見を切り 自分の考えまななかたが、表や形分、その理由	世界の耐食に関いて書かれた文献について、関いたり なんだりしたこそ活用しながら、好きな食べ物につい て、相手の意見を知り、自分の考えをまとめため に、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたり して伝え合おうとしている。 したSSON2 オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書か れた文章について、側に少数とからしたことを活用し ながら、好きな動物について、相手の最大を切り、 ながら、好きな動物について、相手の最大を切り、	
	220 247		Christia shistory was to any stock on	Ab/// Malaban Mil (1911 - 1994 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	A-/// A- - - - - - - - - - - - - -	
	P38~P47	Lesson3	法を開催している。 「技能」列車連手士の職業額の紹介やある場所へ の行まかえるこでであると。自分ができることできない。 ことについて、即動列の中、側は甲山で、情報や考 えを話して伝え合う技能を身につけている。	場所への行き方とそでできると、自分ができること できないとだったが、相手の傷息を却の、自分の考えをまとめるために、情報で考えを話したり書いたりして 伝え合うている。	ついて、側水の路水がりんたとを活用しながら、ある 場所への行き方とさてできると、自分ができると- できないとだついて、相手の傷見を切り、自分の考 えを含とめるかめに、情報や考えを話したり書いたりして 伝え合き分としている。	[題材内容] 三陸鉄油の運転士が仕事の内容について踏る英文を解釈する。 自分の地差方や働きたい場所、働任目的について来るる。 お金閣所への行き方とてでできることのいて乗組で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 遠案内の基本表現を学習し、ロールフ・イングする。 「言語活動] 助動詞の和を用いて自分ができることについて述べることができる。 命令文を用いて交通手段の案内をすることができる。 命令文を用いて支通手段の案内をすることができる。 助動詞が叫について理解し、自分の最志や未来のことについて表現できるようになる。 助動詞の叫について理解する。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
No.3	P48~P59	Lesson4	[知識] は不定時代の十動即の原形と原形い文の 影・機体、開大・関係している。 (技能) 21二塩原で中がたい之、行ってかたい場 所や中がたいどにかて、近年不遅れ(な・動師の原 形〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う 技能を身につけている。	たいことについて、相手の意見を知り、自分の考えを まとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いた	んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややり たいことについて、相手の意見を知り、自分の考えを	9.二 生原について英語で書かれたメールの小窓を解釈する。 気候についてや情景を描写する英語表現を身に付ける。 気候について対策が出ていて英語で述べる際に役立つ表現を身に着ける。 Eメールの書き方や英文メールで使われる顔文学について知る。 人物当てクイズに挑戦し、ボイントとなる情報を正確に担む。 [言語活動]
						to不定詞の名詞的用法、形容詞の用法、園詞的用法について理解する。 wankto不定詞の名詞的用法を用いて「今週末にやりたいこと」について表現でき るようになる。 be able to 動詞の原形を用いて過去にできたことを表すことができる。 投続詞。whenとthatの基本的な使い方をマスターする。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
	P60~P77	Lesson5Reading1	【知識】熱名所動物の一向形を用ル文の形 無味用法理解している。 【技能】将来の夢や光選末に難しがたごについて、 は多記の動物の一向形り利用して、考えや関与。 情報など能して元え合う技能を身につけている。 (Peading 1 (知識)滅形で樹がれたShort Storiesの内容を理解している。 【技能】系籍で樹がれたShort Storiesの内容を読み 取る技能を身につけている。	て、前いたの路に対したことを活用しながら、相乗の 学や過去に違いたごといって、相手の意見を知 り、自分の考えをまとめるために、考えや気持ち、信 報なを経過たり悪いたりして伝え合っている。 へReading 1 英語で書かれたShort Storiesの内容に関する問い に満まている。よ交路で書かれたShort Stories を、前いている相手に伝わりやすいように読む要点を 摂えている。	学や光選系に業人がことについて、相手の意見を切 り、自分の考えを込みためたが、表すで映画す。 「Reading」 「Reading」 「Reading」 「Reading」 「REAS としている。 「REAS としている。 「REAS としている。 「REAS としている。	【題材内容】 長河高校水焼館師について書かれた英文を解釈する。 クラブ活動や学校生活、将来の夢について後位つ英語表現を身に付ける。 好きなことや将来実現したしことについて英語で述べる際に役立つ表現を身につける。 買い物の場面での対話文をリスニングし、ボイントとなる情報を正確に照む。 英語で調かれたショートストーリーを楽しむ。 【言語活動】 動名詞でのかた迂崎を用いて自分の好きなことや将来の夢について英語で表現する。 毎回のかた迂崎を用いて「先週末に楽しんだこと」について表現できるようになる。 第四文型[主語・動詞中目的語(入) + 目的語(物) と第三文型[主語・動詞中目的語(人) + 目的語(物) と第三文型[主語・表詞中目的語(人) 大田の語(物) と第三文型[主語・表詞中目的語(人) 日の語(物) と第三文型[主語・表詞中目の語(人) 日の語(物) と第三文型[主語・表詞中目の語(人) 日の語(物) と第三文型[主語・表詞中日の語(人) 日の語(物) と第三文型[主語・表詞中日の語(人) 可以同様の 100
No.5	P78~P87	Lesson6	形・意味・用法を理解している。 [技能] 好きな絵の紹介とその理由について, 受け	郷川国予の浮世給に即して推介化之本版について、 関心に力感んだいことを部用しが方。 好な社能とで の理由について、相手の原見を切り、自分の考えを まためるために、情報や考え、気持ちを話したり書いた り、て伝え合っている。		・ 正時内容目 デ世給について書かれた英文を解釈する。 好きな給についてその理由をあげてスピーチをする。 良い物の場面での対話文をリスニクル、ポインとなる情報を正確に掴む。 英語で書かれたショートストーリーを楽しむ。 (言語活動) 受け身について理解する。 人や物に焦点を当てて受け身を用いて描写することができるようになる。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

No.6	P88~P97	Lesson7	【知識】比較表現(-er)(the -est)(as+原級+ as)を用いた文の形・意味・用法を理解しいる。ま た、アンネ・フランプについて学んだり、聞いのある人物 について調べた事情を整理・理解している。 【技能】比較表現(-er)(the -est)(as+原級+ as)の理解をもた。アンネ・フランガについて学んだ り、関心のある人物について自分で調べた事情を用い て、考えなどを伝え合う技能を身につけている。	アンネ・フランクの生活と彼女の日記について書かれた 文章について、側いたり落人だりんたとを活用しなが 、側心のある人が見いついて、相手の優見な切り、 自分の考えをまとめるためた。情報や考え、気持ちを 話したり書いたりして伝え合っている。	文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しなが ら、関心のある人物について、相手の意見を知り、	 □ 国材内容」 アンネ・フラン/について書かれた英文を解釈する。 戦争が人々の暮らした与える影響について考える。 日記に書いてみたいことを英語で表現してみる。 関心のある人物について英語で説明する際に役立つ表現を身に付ける。 [富語活動] 比較級について理解する。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
No.7	P98~P111	Lesson8	「知識」現在家で形と内容を開かている。また、ロボットカフについて学んだり、「加やトでンいて自分で ボットカフについて学んだり、「加やトでンいて自分で 深くた事所を整理。理解している。 【技能】現在影響・理解している。 【技能】現在影響・理解している。 「大きないない。」であったカフについて学んだり、「ボット・ロボット・ロボットのアイディアを提案する技能を身につけている。	で調べた事柄を用いて、人の生活を豊かにするロボッ	読んだりしたことを活用しながら、ロボットについて自分	一競析内容1 加州内容1 加州内容2 加州内容2 大型の水りができることについて知る。 分身のボットを活用して自分が外出できない時にしたいことを考える。 人の生活を要加するは不好できる。 人の生活を要加するは水りのアイディアを考え。英語で提案する際に役立つ表現を見に付ける。 電車の果り換え案内をする時に役立つ英語を身に付ける。 【言語活動】 現在完了が起談用法を用いて「~したことがある」という自分の経験を述べられるようになる。 助動詞のanを用いて自分の開発する等のロボットができることを英語で表現する。 第五型型(上部 前部) 目的語・補語]で成り立つ英文について理解する。 第四型型と第五文型の違いについて理解する。 受け身・比較表現・完了形についての影復習をする。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
No.8	P112~P121	Lesson9	た文の形・意味・用法を理解している。また, ブラスチックごみによる環境汚染の問題について学んだり, ブラス	がら、ブラスチックごみの問題について自分たちにできる ことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめ るために、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え	た文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ブラスチックごみの問題について自分たちにできる ことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめ	【題材内容】 環境乃楽問題ついて書かれたプログの英文を解釈する。 プラスチウゴミの問題について知る。 環境保護のために自分ができることについて考える。 自時使用している予えを入資する。 環境を守るためにできることについて英語で述べる際に役立つ表現を身に付ける。 【言語活動】 名詞を修みから説明する分詞(後蓋修飾)について理解する。 現年分別に過去分詞の遺址を把握する。 り到を用いて人物やものを描写することができるようになる。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
No.9	P122~P131	Lesson10	【知識】関係代名詞who, whichを用いた文の 形・簡単、用法を理解している。また、第二次世界大 報によって確認とが興化リフイトの処理的、両地 域の現在の交流について学んだり、海外の文化や社 会を理解する手段(こついて、自分で調べた単柄を整 理・理解している。 【技能】関係代名詞who, whichの理解をと に、第二次世界大戦によって確率した中機とリワイか らの援助や、両心地の現在の交流について学んだ り、海外の文化や社会を理解する手段について自分 で調べた事柄を用いて、考えや情報などを話して伝え 合う技能を身につけている。	援助などに関いて書かれた文章について、聞いたり読 んだりしたことを活用しながら、海外の文化や社会を 理解するためにできることについて、相手の意見を知	第二次世界大戦によって震弾した中観とパライからの 援助などに関して書かれた文章について、間いより残 がたりしたことを高別しながら、海外の文化や社会を 理解するためにできることについて、相手の意見を知 り、自分の考えを込むるために、情報や考えなどを括 したり書いたりして伝え合おうとしている。	理解内容 戦時中の沖縄とパワイのウチナーンチュについて書かれた英文を解釈する。 沖縄とパワイのウチナーンチュについて書かれた英文を解釈する。 沖縄とパワイの歴史や文化について知る。 海外の文化や社会に対する理解を深める活動について考え、英語で発表する際に役立つ表現を身につける。 【言語活動】 関係詞関係代名詞who, which, that】について理解する。 関係詞を用いて人や物について説明を加えることができるようになる。

英語コミュニケーションⅡ

学習の到達目標

All Aboard! English Communication II

- 日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば

 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の悪図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。

 2. 必要な情報を認み取り、潜手すの悪図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。

 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを認せて伝え合うやり歌りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。

 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。

 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

レポート No	教科書ページ	レッスン	知識·技能 A	評価の3観点 思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	学習のボイント
No.1	P8~P19	Pre-Lesson Lesson1	Per-Lesson 知識10本定時や助動詞を開始された文の ・ 個味を理解している。 日度競争年やてみたいことなどを、to不定時で助動 調が間など雇用で、相手に伝える技能を身につけて いる。 Lesson 1 (知識1)関係代名詞があれを用いな文の形。趣味を理 関化している。また、海外の観光地について学んだり、 海外で行てみたい場所やそこやりたいことについて 日度財間係代名詞があれな理解を主た。海外の観 大地について、学んだり、海外で行るいは場所やそ でやりたいことについて、自分で調べた事務を指して、情報や考え、 気持ちを話して伝え合う技能を身 につげている。	すいように伝えている。 Lesson 1 海外の観光地に関して書かれた文章について、聞い たり読んだりしたことを活用しながら、海外で行ってみた い場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知	い場所やそこでやりたいことについて、相手の意見を知	「題味が留) 今年やってかたいことについて書かれた英文を読み、重要表現を学習する。 旅行の報告が一ての英文を読み、重要表現を学習する。 [言語活動] (want to 不定詞]を使って、今年やってみたいことや海外で行ってみたい場所について、 英語で述べる。 関係代名詞whatについて学習し、子どものころなりたかったものについて伝える。
No.2	P20~P29	Lesson2	知識 比較表現(more)(the most)を用いた文の 形・意味を理解している。また、世代を超えて人気の ある音楽で)ドンロンギンに分、好きな人物について 調べ、事料を担理場(すいる。 [技術] 技奈其内での2(計価での3)(が現代を に、世代を超えて人気のある音楽/レドンロンデタん が力、好なる人物について自かで調から知りが見いています。 現由などを話して伝え合う技能を身につけている。	対話について、聞いたり読んだりしたことを活用しなが	世代を超えて人気のある音楽パンドに関して書かれた 対話について、関いたり添んだりいたことを活用しなが 、好きな人物について、相手の意見を知り、自分 の考えをとめるかがに、好きな理由などを話したり書 いたりして伝え合うとしている。 感覚や場情を表す単語や表現を用いて、自分がたん などもどんな感情を表のかということについて、的確 に書いて伝えようとしている。	[題材内容] ランオ番組におけるデイスクショナーとリスナーの会話文を読み、重要表現を学習する。 感覚や感情を表す語を学習する。 [言語活動] 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べる。 形容剛に翻訳すの比較級・最上級について学習し、2つ以上のものを比べて説明する。 どんなときにどんな感情になるかを表現する。
No.3	P30~P41	Lesson3	is … that ~〉の形・意味を理解している。また, ヨー ロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について	3-ロッパの関々の祭りに登場する「クイルドマン」に関ル で書かれた文章について、関ルたり路んがひいたことを 活用しながら、発生が打算について、相手を思見を 知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを 話したり書いたりして伝え合っている。	3-ロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」に開して書かれた文章について、聞いたい路んだりんことを に書かれた文章について、聞いたい路んがりんことを 活用しながら、勇ながずはこいで、相手の意見を 知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを 認したり書いたりして伝え合おうとしている。	[題材内容] 3-ロッパの行事についての英文を読み、重要表現を学習する。 [言語活動] 身近近行事について、英語で紹介する。 Itの用法(It is ~to Vの構文)について学習し、ある行事に対する意見や感想を述べる。 ある所作名詞what・比較表現・tの用法について総復習する。
No.4	P42~P55	Lesson4	(知識)開発開文の形・御永を排発している。また、 サドサウドチリを上入なに比較額について等んだ り、好きな物語について調べた事所を理・理解している。 「民献]間接疑問文の理解をむに、パチリやパチ 伊達土人なにし、物語について学んが、自分で調べ 大事時代用し、「表えや理由などを試して伝え合う技 能を身につけている。	ルチリル総介する原理と1年19年主人公にして書かれた物語が変質について、簡単で記念んでいたこと 活用しながら、好きな物語について、相手の意見を 知り、自分の考えをよめために、考えや理由などを 話したり書いたりして伝え合っている。	れた物語の文章について、聞いたり読んだりしたことを 活用しながら、好きな物語について、相手の意見を	「題材が同!」 以下列の生態についての影明文と物語を認み、重要表現を学習する。 世界自然適産についての説明を聞き、内容を捉える。 世界自然適産についての説明を聞き、内容を捉える。 ある留学生の一日の生活を実施でたび、重要表現を身に付ける。 「霊語活動! 自分の好きな物語を英語で紹介する。 間接疑問なについて学習し、間接的に自分の疑問を伝える。 現在完了進行形でいいて学習し、間接的に自分の疑問を伝える。 学校に行く日の朝起きてから夜寝るまでの出来事を英語で述べる。
No.5	P56~P69	Lesson5	知識 16不定時を含む表現を用いた文の形・高味を 理解している。また、歌舞伎/理教について学んだ り、日本の店が大化二ついて海小大手時代整理・理 解している。 「は紫」16本で近時会は美味の理解をそとに、歌舞 伎/開助について学んだり、日本の伝統文化について 自分で調べた事務を用いて、情報で考えなどを話して 伝え合う技能を身につけている。	ながら, 日本の伝統文化について, 相手の意見を知	歌舞伎と開歌について解説する歌舞伎教室の音声ガ イドの文献について、聞いかり扱んがりんたとを活用し ながら、日本の広覧などにこいて、相手の意見を知 り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを括 したり書いたりして伝え合おうとしている。	[題材内容] 教育技についての音声ガイダンスを英語で読み、重要表現を学習する。 身体の各部分、みだ人身に付けている衣服に関する語を学習する。 [言語活動] 日本の伝統文化について、英語で説明する。 10不定時代含む表現について学習し、人にしてもらいたいごとについて伝える。 ふだん着ているものについて表現する。
No.6	P70∼P77	Reading1	知識)英語で書かれたMujinaの内容を理解している。 【技能]英語で書かれたMujinaの内容を読み取る技能を身につけている。		英語で書かれたMujinaの内容に関する間にで答えよ うとしている。また、英語で書かれたMujinaを、情景 や意場、物の心情が、固化では発生に伝わか守 いなご終む要点を捉えようとしている。	(題材内容) 英語(重称力に物語にムジナルを読み、重要表現を学習する。 (言語活動) (情景)や環場人物の心情を想像し、感情を込めて朗読をする。 簡潔疑問文・to不定詞を含む表現について総復習する。 動詞の形と時の関係について学習する。

No.7	P78∼P91	Lesson6	[知識]動詞の目的語になる/(節を用いた文の形・夏 味を理解している。また。男理策について学んだの。 野野草のパスターに置かけた単特や世界の名な場 所やものについて調べた事時を整理・理解している。 日始前動の目的部になる/(節の連解されるに、勇 事策について学んが、地元の有名な解析やものについて自分で調べた事情を用いて、地元の有名な解析をしたのになるが、地元の有名な解析をしたのにかられるが表する状況を使った。当まで情報などを話して伝え合う技能を身につけている。			[題材内容] 京都所以往高税の宗野菜部のグループ発表の英語を読み、重要表現を学習する。 さまざまな職業を表す語を学習する。 [書語活動] が近て有名な場所やものについて、英語で説明する。 将来就さたい職業とその理由を英語で述べる。
No.8	P92~P105	Lesson7	「知識」関係顧問where、whenを用いた文の形・原 味を開催している。また、世界中で理画を描く動し シルで学んが、力能の人々と交流する方法について 関係で事件を提理を開発しませ、 関係に関係に関係していて学んだり、外国の となります。 となります。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	世界中で壁面を描く活動に関して書かれた文章につい て、聞いの路んだりたことを活用しながら、外国の 人々と交流する方法ごいて、相手の最大地の、自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話した。 自分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話した り書いたりして伝え合っている。	人々と交流する方法について, 相手の意見を知り,	[題材内容] アーディストのミザザキケンスケさんが経歴や活動について語る英文を読み,重要表現を学習する。 空港での入国商書における会話文を読み,重要表現を身に付ける。 ロンドン地下鉄の路線図をもどに、目的地への案内方法を学習する。 [電話活動] 世界の人々と交流する方法について英語で述べる。 関係副即かれていい、中国に、場所や時について説明を加える。 入国商者で専ねられる質問に対し、スムースに受け答えする。 電車の乗り換え案内をする。
No.9	P106~P119	Lesson8	知識 知覚動師を用いた文の形・意味を理解している。また、生物機能について学んだり。自然界のデザ イをといた開発な打き製品について学んだり。 理・環報にいる。 接続 知識動の理解をもどに、生物機能について 学んだり。自然界のデザインといた開発された製品 について自分で調べた事件を用いて紹介記事を作成 し、情報などを起して伝え合う技能を身につけている。	かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用 しながら、自然界のデザインをヒントに開発された製品 について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめる ために、情報などを話したり書いたりして伝え合ってい	しながら、自然界のデザインをヒントに開発された製品 について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめる	題材内容] 自然料学をデーマにしたオンテイン構造の英文を読み、重要表現を学習する。 [霊語活動] 自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表する。 知覚動詞について学習し、見たり聞いたりしたことについて、その様子を伝える。 動詞の目的語になる評節・関係翻詞where/when・知覚動詞について総復習する。
No.10	P120~P133	Lesson9	「知識」保险動制を用いた文のが、意味を理解してい あ、また、チュコレートをかくる社会問題とその解決策に ついて学んだり、その問題について調べた事情を整理 理解している。 「無動」保険動物の理解をもとに、チュコレートをめくる 社会問題とその解決策について学んだり、その問題に ひいて自分で調が大類について学んだり、その問題に ひいて自分で調が大類について学んだり、その問題に おして伝え合う技能を身につけている。	チュコレートをかくさ社会問題との解決策に関して書いたい主なであった。 いいたり添んでのようを書いて、関いたり添んでいたとを活用しながら、チュコレートをかくさ社会問題とその解決策について、相手の意見を知り、自分の考えをまめるため、「情報や考えなどを話したり悪いたり」で伝え合っている。	ついて, 相手の意見を知り, 自分の考えをまとめるた	チョコレートをめぐる現実について書かれた雑誌記事の英文を読み、重要表現を学習する。
No.11	P134~P147	Lesson10	「知識」分詞構文を用いた文の形・意味を理解している。また、ナイチンゲールの生産について学んだり、人 もまた、ナイチンゲールの生産について学んだり、人 も助ける機能でして限いて事件を管理・環解している。 「接続」分詞構文の理解をもどに、ナイチンゲールの生 落について学んだり、人を助ける概義について自分で 源で二かて学んだり、人を助ける概義について自分で の欠に事体を用いて、情報や考えなどを話して伝え合 り技能を身につけている。	医療と普遍の発展に一生を捧げたナイチングールの生 運に開い、農かれた文庫について、間いたり路んだの たととを活用しながり、人を助ける職について、相 手の展見を知り、自分の考えをまとめるために、情報 や考えなどを話したり書いたりして伝え合っている。	たことを活用しながら、人を助ける職業について、相	[題材内容] 英国の葡萄師的ローレンス・ナイチンゲールについて書かれた英文を読み、重要表現を学習する。 [電話活動] 人を助ける職業について、英語で説明する。 分別構文について学報し、「~しながら比文に情報を加える。 使役動詞・分別構文について総復習する。
No.12	P148∼P155	Reading2	[知識]自分たちで結末を考えた。英語で書かれた Bear's Pieo/内容理理化してらまた。登場人物 吸気持ちが聞いている。社会 調を解こりばている。 [技能]英語で書かれたBear's Pieo/内容を読み取 り、物語の結束を考え、配役を決めて、即能制を演 しら技能を身につけている。	英語で書かれたBear's Pieの内容に関する問いに英 語で高えている。また、英語で書かれたBear's Pie 。。 登場人物の支持が聞いている者に伝わりやすい よった。 朗誘する要点を捉えている。		[題材内容] 英語で書かれた物語文パマアーズ・パイを読み、重要表現を学習する。 ある韶学生の一日の生活を英語でたの、重要表現を身に付ける。 [書語活動] 物語の結末を考え、英語で台本を作り朗読劇を演じる。 学校に行く日の朝起きてから夜寝るまでの出来事を英語で述べる。

英語コミュニケーションⅢ

学習の到達目標

All Aboard! English CommunicationⅢ

- 日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても
 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
 2. 必要な情報を誘み取り、謝差手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

レポート	教科書ページ	レッスン		評価の3観点		学習のポイント
No	9X付告パーン	レッスン	知識·技能 A	思考·判断·表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	子首のポイント
No.1	P4~P11	Lesson1		て、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、建築物 を紹介するレポート番組を作るにあたり、相手の意見 を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えなど	類外の各名は経路物に関して書かれた文庫につい 、関いたの話人が入りたとを活用したが、接接物 を紹介するパポート類相をやるにかたり、相手の意見 を紹介するパポート類相をやるにかたり、相手の意見 を紹介ものであるませんがあたり、情報や考えなど を話したり着いたりして伝え合かうとしている。	
No.2	P12~P19	Lesson2	いる。また、北海道のエゾモモンガやアイヌの人々につ	文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しなが ら、生き物について、相手の意見を知り、自分の考 えをまとめるために、情報や感想などを話したり書いた	北海道のジモとがウアイタの人々に関いて書かれて 変育について、聞いたり熱んだりにことが再用しなが ら、生き物について、相手の意見を扱り、自分の考 えをまためるために、情報で感想などを話したり書いた りして伝え合わらしている。	・アッカムイ (エゾモモンガ) についての英文を解釈する [言語活動]
No.3	P20~P27	Lesson3	る。また、衣服の働きと自己表現としてのファッションに	れた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ファッションやスタイルについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気	会議の始急と自己表現としてのアッションに別、て関いた文章について、耐いたり添んだりたことを活用しながら、プッションやスタイルについて、相手の意見を知り、自分の考えをまためためた。情報や考え、気持ちを話したり耐いたりして伝え合おうとしている。	[簡材内容] ・ファッションについての英文を解釈する [言語活動] ・ファッションについて英語でイングユーする ・使役動詞を用いて表現する
No.4	P28~P37	Lesson4		だりしたことを活用しながら、食糧問題について、相手 の意見を知り、自分の考えをまとめるために、意見や 情報などを話したり書いたりしてミニディベートを行ってい	昆虫食に関して書かれた文章について、間かたり読ん だりたことを活用しながら、食種問題について、相手 の意見を知り、自か今まえをとめるだめた。 意見や 情報などを話したり書いたりしてミニティベートを行おうと している。	[題材内容] - 食種問題についての英文を解釈する [言語活動] - 表種問題について英語でディベートする - 受け身を用いて表現する
No.5	P38~P47	Lesson5	「四国」関係作名目Who、which、thatを用いた 文の形・意味を理解している。また、マダガスかルにつ いて学んが)、地域の自然の特徴ごついて調べた事が を整理・理解している。 【技能】関係化名詞がho、which、thatの理解 をただ。、マダガスかルについて学んだり、地域の自然 の特徴について学んだり、地域の自然 の特徴について当れのでは、「解散や考えど を話して伝え合ったり、原稿を書いてプレゼンテーション をする技能を身につけている。	章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、 地域の自然の特徴について、相手の意見を知り、自 分の考えをまとめるために、情報や考えなどを話したり	マダガスから自然と人々の生活に関いて書かれたと 朝について、関いたり感んだりしたことを活用しながら、 地域の自然の特徴について、相手の意見を切り、自 分の考えを主めるためた、情報や考えなどを話したり 原稿を書いたりしてアレゼンデーションを行おうとしてい る。	[題材内容] ・マダガカルについての英文を解釈する [言語活動] ・思域の自然について英語でプレゼンテーションする ・関係代名詞を用いて表現する

	P48~P53	Reading1	を理解している。 [技能] 英語で書かれたThe Fun They Hadの内 容を読み取る技能を身につけている。	英語で書かれたThe Fun They Hadの内容に関する問いに答えている。また、英語で書かれたThe Fun They Hade、各場面の状況や登場人物の心情が、聞いている者に伝わりやすいように終む要点を捉えている。	る問いに答えようとしている。また、英語で書かれた The Fun They Hadを、各場面の状況や登場人 物の心情が、聞いている者に伝わりやすいように読む 要点を捉えようとしている。	[題材が容] ・ The Fun They Hadというタイトルの物語文を読む [言語活動] ・ 物語の背景や登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・ 物語の内容に関する質問に英語で答える
No.7	P54~P63	Lesson6	[知識] 原係代名詞 (Who, which) の非期限用 法を用いた文配が 無味を理解している。また。古代 中国を統一した秦の始皇帝の薬績と彼が残した兵馬 備について学んだり。 訪れてみたい史跡について調べ、 上海的登録学 (世界)にている。 [日波節] 原係代名詞 (Who, which) の非期限用 法の理解をとして、古代中国を続一した秦の始度や の業績と彼が残した兵馬(備について学んだり。 訪れて かたい史跡につい歌いた事柄を用いて、情報や考え などを話して伝え合ったり、まさがのあらパラブラを書 いて発表したりする技能を解につけている。	古代中国を統一して書かれた単語の実施・認が残した。 日素値、関いて書かれた文章について、助まれなあんだり。 だり、たとを活用しながら、訪れてみれい史跡について、相手の意見を起り、自分の考えをまとめるため て、相等の意見を起り、自分の考えをまとめるため のあるパラグラフを書いて発表している。	古代中間を新一た素の総具等の業績を被外残した。 日素循に関いて書かれた文庫について、助れた別名、 だりしたことを活用しながら、訪れてみたい史跡につい て、相手の意見を起り、自分の考えをまとめるため に、情報や考えた意乱たりまとかけて、まとまり のあるパラグラフを書いて発表しようとしている。	「題材内容」 素の兵馬偏についての英文を解釈する 「言語活動」 ・訪れてみたい史跡について英語でまとまりのある文章を書く ・関係代名詞の非制限用法(,who / ,which)を用いて表現する
No.8	P64~P73	Lesson7	[知識] 比較表現を用いた文の形・毎味を理解している。また、地球基礎化と同生可能下れドーについて がため、角生可能下れギーについて ラカルでの、カードのでは、カード	地球基場化と両生可能エネルギーに関して書かれた 文章について、聞いむ路人がひかたことを活用しなが 5。再生可能エカギーへの対資金部のブラカン・ か取りた事物など専用い、用生可能エネルギーにつ いて、相手の最早を切り、自分の考えまとかるため に、情報や考えなどを話したり原稿を書いたりして、プ レゼンテーションを行っている。	み取った事柄などを用いて, 再生可能エネルギーについて, 相手の意見を知り, 自分の考えをまとめるため	[題材内容] 地球温暖化とエネルギー問題についての英文を解釈する [言語活動] - 再生可能エネルギーについて国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをする ・比較表現を用いて表現する
No.9	P74~P83	Lesson8	日間 3 名所を扱うかお明する分類を用いた文の ・	原環貨下に力砂燃料、た成島の落曲電車その運転 またた女子生徒の経験や平和の大切さに関して書 かれた文幅について、耐いた功能がひいたとを活用 しながら、訪れた場所で経験ルたとなどについて、相 予の異見を知り、動わり考えをはめなが、情報 や考えなどを話したりまとがわりして、まと割のあるが「ラ ブラフを書いて発表している。	土だった女子生徒の経験や平和の大切さに関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、訪れた場所で経験したことなどについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報	(題材内容) ・/広島の路面電車にまつわる英文を解釈する (言語活動) ・経験したことや考えたことについて英語でまとまりのある文章を書く ・名詞を後ろから説明する分詞を用いて表現する
No.10	P84~P95	Lesson9	「四国」 仮定法過去を用いた文の形・國味を関係している。また、雷や異常気象について予んだり、電気自動車への切り替えてついて調べ事种种を整理・関係している。 「接続」 仮定法過去の理解をもとに、常や異常気象について学んだり、電気自動車への切り替えてついて 原文化事時度用い、夏見や情報など話して伝え 合ったり、適難についての意見を書いたりして、ここぞく ベートを行う技能を見てつけている。 「Extra Target 1] 「知園」過去完了形と過去完了場后形を用いて、 反の形・複本を関係している。 に対象に対象に対象に対象には 過去のある場合まで的完了」「経験」「経 技どを表事場合に過去完了形を用いて、また 力を占して過去で、またを用いてまた。 「となれている。 「とは、日本のといるといる。 「とは、日本のといるといる。 には、日本のといるといるといるといるといる。 「とは、日本のといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといると	無の発生の(えか)地類方法、助認識機能との関係 を定に関いて書かけた文献にかり、 能気に対しながら、電気自動率へのが開えについて、相手の意見を切り、自力の考えまさめるため に、鬼男や何情報を活はいきまいがして、こディ ベートを行っている。 [Extra Target 1] 過去のある砂点ますの「完了」「経験」「継続」などを表 す場合には過去デアを用いて、また、過去のある 売品まで動作が振くいたことを表す場合には過去 完了場合形を用いて、それぞれり幅に伝えている。 [Extra Target 2] 人や主き物以外の無生物を主婦として用いて、原因 中理由、条件や手段、時間などを対極に伝えている。	したことを活用しながら、電気自動率への切り替えてつ いて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるため に、意見や情報などを話した事いたりして、ミニディ ベートを行おっとしている。 [Extra Target 1] 過去のある時点までの「完了」「経験」「継続」などを表 芽場合には過去来了形を用いて、また、過去のある	【題材内容】 ・翻こついて書かれた英文を解釈する [語語活動] ・電気の有効活用について英語でミニディベートをする ・仮定法過去を用いて表現する
No.11	P96~P105	Lesson10	[知識] 関係代名詞whoseを用いた文の形・意味を 理解している。また、人権差別の歴を越えて、米面の 宇宙開発に貢献したアリホテッカル、数字者、 キャサリージョンソについて学んだり、社会に影響を 身无人、物につい自つで調べてませか、事刊を整 理・理解している。 日秋記 関係代名詞whoseの理解をもだし、人権 差別の歴を越えて、米国の宇宙開発に貢献したアフ・ があたアリカ人を発き、キャサリージョンノについて 学んだり、社会に影響と考えと人物について自分で 調べてませかまず作用いて、情報やまななどを払 で低くささかまります。 に行きつか、またまりのあるエッセイを書いて発表し たりする技能を導につけている。	人種差別の壁を越えて、米国の宇宙開発に買献した アプリカ系アメリカ人数学者。 キャザリン・ランシンに関 いて書かれた文庫でいて、関いでの扱うだりにことを 活用しながら、社会に影響を与えた人物について、 活用しながら、社会に影響を与えた人物について、 相手の意見を見切。自分の考えをはみるから、信 総や考えなどを話したりまとかたりして、まとまりのある エッセイを書いて発表している。	キャサリン・ジョンソンに関して書かれた文章について, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 社会に影響	[題材内容] ・キャサリン・ジョンリンさんについて書かれた英文を解釈する [書語活動] ・社会に影響を与えた人物について英語でエッセイを書く ・関係代名詞(whose)を用いて表現する
No.12	P106∼P111	Reading2	[知識]英語で書かれたTable for Twoの内容を理解している。 [技能] 英語で書かれたTable for Twoの内容を読み取る技能を身につけている。	英語で書かれたTable for Twoの内容に関する問い に答えている。また、英語で書かれたTable for Two を、各場画の状況や登場人物の心情が、聞いている 者に伝わりやすいように誘む要点を捉えている。	英語で書かれたTable for Twoのか容に関する問い に答えまとしている。また、英語で書かれたTable for Twoを、各場面の状況や登場人物の心情が、 聞いている祖に伝わりやすいように誘む要点を捉えよう としている。	[題材内容] ・Table for Twoというタイトルの物語文を読む [言語活動] ・粉語の背景で登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・物語の背景で登場人物の気持ちなどを意識しながら話の流れを掴む ・物語の内容に関する質問に英語で答える

論路表現 I NEW FAVORITE English Logic and Expression I

多くの支援を活用すれば、基本的な話句や文を用いて、 1、文脈にあった質問や指えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2、論壁の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、誘して伝えることができる。 3、論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、膨いて伝えることができる。 学習の到達目標

レポート	教科書ページ	レッスン	知識·技能 A	評価の3観点 思考・判断・表現 B	・ 主体的に学習に取り組む態度 C	学習のポイント
No.1	P14~P31	Unit1 Lesson1 Lesson2 Lesson3	へLesson 2 (知識の用での表現、受動能を削いた文の 財・職味・用皮を増加ている。 は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、 対し、運用、上のかの考えや契持ちなどを表現する基本的な技能を 無いされている。 (CLESSON 2 (以間間 (CDM) なりの・ボンダルラインで、 (CLESSON 3 (以間間 (CDM) なりの・ボンダルラインで、 は、一般では、一般では、一般では、一般では、 は、一般では、一般では、一般では、 は、一般では、 に、 は、一般では、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	へとSEOST (相乗を開発・開送・日本の主要を開発・日本の主要を用きます。	へ会の501 通知の活動を研究的ながら、適切な表現を用いて、相手を繋がら、物を含動となりならなど。 変し、活動に関係している。また、動物を を関係している。また、動物を を関係している。また、動物を を表現したとしている。また、動物の表がを があり、原を表現したが、は ではませました。 ではませました。 のではませまなまた。 のではませまなまた。 のではませまなまた。 のではまたまた。 のではまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	(国地方学) 毎年会で出るた料理についての対抗文を通して、景める・勧める・断る際の表現を身に 付ける。 場面所についての対抗文を通して、現宝する・倍額する・副師を説明する際の表現を身に 付ける。 人物について紹介するだと一手を通して、身近な人を紹介する際の表現や個色学の注意を 引につかる様々がある。 引につかる。 「温田芸能」) 未来表現・可算名詞・不可能名詞・受動態・現在東で再と過去形・10-不送別と勧名詞 などの組ませ着難乱しながら、重要表現を毎に付け、自分の考えや歴況を述べることができ 5.
No.2	P32~P49	Lesson4 Lesson5 Lesson6	CLESSOFA (1987年) (1988年) (1	やす代物事を期写している。また、文願に応じて、適 切な表現で相づちを打ったりして、自分の考えや気持 ちなどを表現している。 〇Lesson6 相手の立場では沈を理解し、適切な表現を用い て、具体的かつ一貫した型が免を持たせ希望を述べて いる。また、相手が始等さるよう論理を一貫させて 理由を述べたりして、自分の考えや気持ちなどを表現。	へLeasonが 自身の活動を開かり、適切な実現を用いて、現在 の体験・環体的な度ななどを伝えるかと、簡単別点 動能に取得的などいる。また、相手の立場や状 深度理解、具体的な温度がレタル形で、体現を 等なより、指示・アイス化とがして、自分の今天 にして、自分の今天 自身の活動を世の次のなかり、適切な長限を用いて、 この他からとしても、また、実施にひて、適切な にかしましたしても、また、実施にひて、適切な にありませんとしても、また、実施にひて、適切な を実際し、よりとして、。また、大きなので、 は、自分の今天を実際し、 がは、自分の今天を実際して、 がは、自分の今天を実際して、 がは、自分の今天を実際して、 がは、自分の今天を実際して、 がは、自分の今天を実際して、 がは、自分の音楽をできたなかにがある。 がは、自分の手をできたるかなが、 がは、自分の音楽をできたなかなが、 がは、自分の音楽をできた。 がは、自分の音楽できた。 できたいまして、 を、 の他がとしている。また、毎年が解析できるとの論理 を一定させて理解をなどした、自分の言葉できた。 で表がもなどを表現しよとしている。	け、自分の考えや意見を述べることができる。 □ □ □ □
No.3	PS0~P67	Lesson7 Lesson8 Lesson9	CLESSON 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	CLESSOT (1997年)、 一個の表現を用いて、計画 無難で代名を理解し、適切の表現を用いて、計画 などの他が存在えて添ったり、計算を記さする場所 を経るだえたいてある。た、例を受致したり、目字に を超点した形で理解と必えて添った場所になった。自分 の表すを発情が立たを表現している。 では一般では一般では を整理して認解したり。子助かず中心出たがしていた。 で、自分の本子を実施すると表現している。 に、自分の本子を実施すると表現している。 に、自分の本子を実施すると表現している。 で、あらずしなどを解して、あられているがしたり。 内容に関連するを確解し、適切な表現を用いて、あられている。 に、自分の本子を実施すると表現している。 た、原語手や総か手にひかりです。自分の本えや実 特力などを表現している。	(Lesson7) (出版の2年)、週辺は展現年刊、 (一週辺を展現年刊、計画などの他から行うで、 (一週辺を展現年刊、計画などの他から行うで、 (のかりまたの)、計画などが多層の機能を入びりる情報を (のたりまたの)、計画などが多層の機能を入びしている。また、別いを を対けた。用手に適応した形で自由を対したが表現しませた。 (1940年)、日かの考えが条料のなどを表現しませた。 (1940年)、日かの考えが条料のなどを表現しませた。 (1940年)、日かの考えが条料のなどを表現しませた。 (1940年)、日かの考えが条料のまたが、日本ので表現を担じた。 (1940年)、日本ので表現を用した。 (1940年)のよりでは、日本ので表現を用した。 (1940年)のよりでは、日本のである。 (1940年)のよりでは、日本のである。(1940年)のよりでは、日本のでは、	・ 理解が深) ・ (ペントに勧加される場面の対話文を通して、英語での誘い方・誘いの変け方・誘いの密か方について筆書する。 ・ (ペントに対して単書する。 ・ (ペントに対して単語をする。 (ペントに対して単語をする。 (ペントルウンセラン・に可能をする。 ・ (ペントルウンセラン・に対して単語をする。 ・ (ペントルウン・ロットル・・ (水画であるから) で表現、様のでは対する。 (水画であるから) で表現、様のでは対する。 (水画である) (水画
No.4	P68~P87	Lesson10 Lesson11 Lesson12	(Lesson1) (1回国) 保管動物」、して光深と動名同年用、吹文の形・園味・用 に知国 保管動物」、して光深と動名同年用、吹文の形・園味・用 法有理解人でもあ、 は知る事化、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身 なりに裏知り、自分の考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身 なりに裏知り、 (Lesson1) (1期間) 仮定法律用、吹文の形・園味・用法を理解している。 (1 技能) 学水が回路を用いて、共移を述べる、残念な成計を注がる。 第二年成本の表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を対な接続を終亡がている。 (Lesson2) (日間) 仮定法律用、吹文の形・園味・用法を理解している。 (日本) マインに関係して、現住かと述るときの現場を報じ、選集日 本方のは技能を解こっけている。	OLESSON10 相手の状況を開発し、海切の表現を用いて、同体 例の特別や開始や添えて都かの成功を伝えている。 また、用手を対力があるためで、 は、一般であるで、一般であるで、 は、一般であるで、一般であるで、一般であるで、 は、一般であるで、一般であるで、一般であるで、一般であるで、 「現在で対するだか」、他ないで、一般であるで、 、現在では、また、相手の根える問題に対する解 、状態を提覧になり、また、単分の考えで契約するで、 、現している。 、工作を表現している。 、工作を表現している。 、工作を表現している。 、工作を表現している。 、工作を表現している。 、また、自 のので、一般では、一般であるで、 、一般では、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ALESSON11 高いて表現を用いて、一般のであれて、一般のであれて、一般のである。 「日本のでは、一般のである。」 「日本のでは、一般のである。」 「日本のでは、一般のである。」 「日本のでは、一般のである。」 「日本のでは、一般のである。」 「日本のである。」	題前が前 1
	TO TELL	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	(14回) しの本世紀を動名同時用小文の形・原味・用法を理解している。 (1技能) チェだ知識を押して、理由を述べる。例を好びなどの決策を確認に適用し、対象が多なできまする基本的な技能を得ていている。 (1技能) チェだ知識を押して、海子の意味と対して、海子の意味を持つなどを表現する基本的な技能を表している。 (知識) 第2項を対象を表現を表現した。例から本でも持ちなどを表現する基本的な技能を発している。 (知識) 通路があり、受動を乗れい文の形・趣味・用法を理解している。 (15版) チェンルの地を押して、たったとき立きと描写する基本的な技能を持っ立ている。 (15版) チェンルの地を押して、たったとき立きと描写を開めている。 (15版) チェンルの地を開いて、たったと、一般・用法を理解している。 (15版) チェンルの地を用いて、たったと、一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一般・一	場面や大気を開催し、適切を表現を用いて、相手 を認備するかなどを開催している。また、考えや気 持ちなどを表現している。また、考えや気 持ちなどを表現している。また、考えや気 持ちなどを表現している。また、自 日本の意を性類に、適切を表現を用いて、反驳 したり、相手の発度や関邦したいでいる。また、自 つめますで実計など表現している。また、自 でしたが、自 ではなど理解し、適切を表現を用いて、できて と考生を生きと描写したり、自分の意味をよりでけて、 でした。 これまからない。 これまからない。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 の事との事とないました。 は、自 のりのきとないました。 は、自 のりのきとないました。 は、自 のりのきとないました。 は、自 のりのきとないました。 は、自 のりのきとないました。 は、していました。 は、したいました。 は、していまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	自身の活動能例が別ながら、適切な表現を用いて、 用手を提明するために自我を検索する所と自我を検索すると、 自然に合うた時を学がたんでも、また、自分の考予を開かると表現しました。 (人は5500.2 は、 1000.2 は、 1000.2	20スピディートもしている場面の対抗なを起して、基本的なデバートの流れについて知る。 主張でも理由の述べた。具体等の等いたと学育する。 主張でも理由の述べた。具体等の等いたと学育する。 経験禁ルのだとデ技術を選して、できて生生されませまするコン・経験から得た教訓など 経験禁ルのだとデ技術を選して、できて生生されませまするコン・経験から得た教訓など がアドバイスカラボーを選出する。 選化やスポークについて紹介・定規化している英文を選して、ルールや手環を順序立てて説明 する方法。理書子の出血。合わせて説明する方式を登して、ルール・ア・環境が重なして説明する方法。理書子の出血。合わせて説明まる方法、理書子の選集の合せ、ア・政・選手がある。 「富語を勤」した「不変別集をは、「おり、選手を選集しながら、重要表現を終く付け、自分の考えや意見を述べることができる。」 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

No.6	P112~P135	Lesson5	♦Lesson5	○Lesson5	○Lesson5	[題材内容]
		Lesson6				日本をPRするプレゼンテーションの英文を通して、事実と意見を区別して述べる方法や文
		Lesson7			て述べたり、相手の認識に配慮し、客観的に説明し	
		Lesson8	。 「技能」学んだ知識を用いて、事実と意見を区別して述べる。文化			物事の両面を伝える手本となるパラグラフを通して、利点と欠点の述べ方・話題を発展させ
		LESSONO	や習慣を説明するときの表現を適切に運用し、自分の考えや気持ちな			る方法・話題の変え方を押さえる。
				適切な表現を用いて、利点と欠点の両方を述べた	2	読み手を納得させる手本となるパラグラフを通して、自分の主張について理由を述べる方
				1000 は 1000 では 1000 できます	9.	試の子を約得させる子本となるハブノブを通じて、日ガの主張にプロで年田を近へるカ 法、理由の要約の仕方を学ぶ。
			(Lessonb 「知識] 名詞と無生物主語を用いた文の形・意味・用法を理解して			
						読み手を説得する手本となるパラグラフを通して、人の発言を直接引用する方法・条件を 出して意見を述べる方法・説得する方法を身につける。
					て、利瓜と火瓜の向方を述べたり、話題を発展させたり、ディスコースマーカーを適切に用いて話題を考え	出し(思兄を述べる方法・説得する方法を身にしげる。
			[技能] 学んだ知識を用いて、利点と欠点を述べる。話題を発展させる。話題を変えるときの表現を適切に適用し、自分の考えや気持			COMMUNICATION CO.
						and, but, so·名詞と無生物主語などの語法を意識しながら、重要表現を身に付け、自
				理解し、理由を要約して述べたりしている。また、自		分の考えや意見を述べることができる。
						意見を論理的に述べる際に役立つディスコースマーカーを押さえる。
			[技能] 学んだ知識を用いて、自分の主張の理由・根拠を説明す		て、相手が納得できるように、自分の主張の理由・	
					根拠を説明したり、相手の意見を理解し、理由を要	
					約して述べたりするために繰り返し活動に取り組もうと	
					している。また、自分の考えや気持ちなどを表現しよう	
			[知識] 名詞と無生物主語を用いた文の形・意味・用法を理解して			
			いる。	ている。		
			[技能] 学んだ知識を用いて,人の発言を直接引用する,条件を		自身の活動を振り返りながら適切な表現を用いて、	
			出して意見を述べる,説得するときの表現を適切に運用し,自分の		自分と他者の意見や発言を区別してそれを引用した	
			考えや気持ちなどを表現する基本的な技能を身につけている。		り、条件を出して意見を述べたり、相手を説得したり	
					するために、繰り返し活動に取り組もうとしている。ま	
					た、自分の考えや気持ちなどを表現しようとしている。	
		1				
		1				
_						

論路表現**I** NEW FAVORITE English Logic and Expression**I**I

一定の支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、 1、文脈にあた質問や指えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。 2、論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、誘して伝えることができる。 3、論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、膨いて伝えることができる。 学習の到達目標

レポート	教科書ページ	レッスン		評価の3観点		学習のポイント
No.1	教科書ペーシ P8~P23	Lesson1	知識·技能 A ◇Lesson 1	思考·判断·表現 B ◇Lesson 1	主体的に学習に取り組む態度 C ◇Lesson 1	[題材内容]
		友達に報告する Lesson2 日本での初登校 Lesson3 経験についてのスピーチ Lesson4	知園」耳正する、心配する、感謝するときの表現の形・意味・用法を理解している。 [技能]学んだ知識を用いて、訂正する、心配する、感謝するときの表 現を識切に適用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身に づけている。 ◇ Lesson 2	どを詳しく表現している。 ◇Lesson 2 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、驚き	自分の活動を銀り返りながら、適切な表現を用いて、発言や情報などを打正したり、自分や相手について心配したり、相手に感謝したりして、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現しようとしている。 ◇Lesson 2 自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用い	友達に留学について報告する場面の合語文。 報学上グロネッで比例で登録し、出願の合語文。 ポラティア活動の経験を紹介するスピーチ原稿。 英語で書かれたアンレター。 【電話活動】
		ブァンレ ター	□加川 派、終り返す、煮い換するとめの表現の形・原味・用法を理解 「江いら、 「技能」予ルが国際を用いて、解く、終り返す。煮い換えるとの表現を 頭がに、薬料し、向りや者大や気持ちなどを注く、表現する計能を発にづけている。 (とLESON 3 「は新」 学んだ3回条例いて、注重を引く、同意求めるともの表現の形・原味・用法を理解し (以高) 工業を引く、同意求めるともの表現の形・原味・用法を理解し (以高) 工業を引く、同意求めるともの表現の形・原味・用法を理解して (日本) アルドン国際・日本では、一般であるとを引く返れています。 (LESON 4 「日本) アルドン国際・日本では、一般であるともの表現を表別に実際 カーダールドン国際・日本では、一般であるともの表現を測りに実際 、自今の考えや見れなど変好し、実際・原めるともの表現を測りに実際 、自今の考えや見れなど変好し、実際・原めるともの表現を測りに実際 、自今の考えや見れなど変好し、保険の、原めるともの表現を測りに実際 、自今の考えを見ないとないます。	やその原因・理由を表現したり、発言や情報などを繰	て、開きやその原因・増加を表現上り、発生や情 概定とを認知品上り、現土や情 の考末や現計ちなど客打く表現しょとしている。 (1950年)、1967年)、1967年 (1950年)、1967年)、1967年 を引いたり、開催を表現されて、日から考え を引いたり、開催を表現されて、自分の考え を引いたり、開催を表現ことしている。 自分の活動を担切別り、期間な事業を担いて、自分の考え を発展していませます。 自分の活動を担切別り、期間な事業を担いて、自分 の影響を担び戻り、期間な事業を担いて、自分 の影響を行るだり、相手やすび与いところを影響が するために、自分の考えや集神ちなどを自分の需算 で詳しく表現したとしている。	訂正する・心配する・感謝する際の英語表現を発化でける。 第、他別立者・「無力を必定の英語表現を発化でける。 ズビーチにて注意を引く同意を求める際の英語表現を発化付ける。 望む・優かる際の英語表現を解化付ける。
No.2	P24~P39	Lorens	♦Lesson 5	♦Lesson 5	AL orresp E	[題材內容]
100.2		イベントに関う Lesson6 図書館で業料さかし MESSON7 翻訳についてのスピーチ Lesson8 通信販売で返品依頼	10回回 19.5、規則するとのの規則が、原は・別点を開発している は無常 学人が認知を担いて、第3、の関するとの表現を通い、選用 人 自分の考えや集持ちなど群しく表現する技能を終しつれている。 10回回 別申請す、依頼するとの表現の形・原味・用法を建築している。 (1技能) 学人が3回曲を用いて、随き画す、依頼するとの表現の表現を認可している。 (1技能) 学人が3回曲を用いて、随き画す、依頼するとの表現の表現を認可している。 (1技能) 学人が3回曲を用いて、更新書す、依頼するとの表現の形ではないません。 (1対能) 要する。 高、地点るととの表現の形・原味・用法を建築している。 (1対能) 学が5年 高、地点るととの表現の形・原味・用法を建築している。 (1対能) 学が5年 高、地点るととの表現の形・原味・用法を建築している。 (1対能) 学が5年 高、地点るとをの表現の形・原味・用法を建築している。 (1対能) 学が5年 高、地方ともを伝える・説明する技能を身に少けている。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いる。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いている。 (1対能) 学人が3回線を用いる。 (1対能) 学人が3回線を用	場面や状況を理解人、適切な表現を用いて、相手 を誘ったり、詳細を説明したりして、自分の考えや気 持ちなな客柱人表現している。 〇上esson 6 場面や状況を理解し、適切な表現を用いて、相手 の発電なだこついて聞き直したり、相手に依頼したりし て、自分の考えや気持ちなど客样く表現している。 〇上esson 7	自分の高級を担別の立め、適切は表現を用いて、 、相手を持たり、理能を発現したりを設しませた。 自分の表えを見まってを買いて、 として、 として、 として、 として、 でして、	水スターのの容を説明、イベントは勢・場面の会談文、 図書館で資料を収入回書館で書店・経済をも場面の会談文、 英述と日本語の部形の難したこいて述べられたスピーチ原稿。 通復振奏で交換(返品)依頼をするメール文。 [富括志動]
No.3	P40~P56	Lesson9 9ウアーの乗る Lesson10 お電子でAプルテコン Lesson11 比較的年のプレゼン デーション 就きたい概葉	〇LESSON 9 [1月間] 他新学方、提案すると市の表現の形・御味・用法を理解してい あ。 [注接] 学人が知識を用いて、依頼する、提案すると市の表現を適切に 源用し、向分の表大や成時ななどを打しく表現するお腹を身に分けている。 (人ESSON 10 [2月間] 成定する。及対すると市の表現の形・趣味・用法を理解してい (原理) 学人が記憶を用いて、仮定する。及対するとか表現の形・趣味・用法を理解してい (日本) 例かの表大や気持ちなどを詳しく表現すると数定を得しないない。 (日本) 「日本) 「日本) 「日本) 「日本) 「日本) 「日本) 「日本) 「	自分の考えや気持ちなどを詳しく表現している。 ◇Lesson 11 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用い て、1つのテーマに沿って話しながら、さまざまな報告	○LESSON 9 ●かの活動を振り返りがう。適切な表現を用いて、質問を文えながら結果した)提案に比するた に、自分の考土や実持ちなを軽した。提案したするた に、自分の活動を担つ返りながり、適切な表現を用いて、ときまする姿をしたり、適切な表現を用した。ときまするなどをした。場合の考土や実持ちなどを担して、使いるこのは、11 10分~におりました。は、1 10分~におしました。は、1 10分~においました。とまさまな優をしたのは、2 10分~においました。とまさまな変をした。このでもたが、自分の表と呼吸持ちなどを自分の面質で担いく表現した。1 10分の表と呼吸持ちなどを自分の面質で担いく表現した。とまさまな変をした。1 10分の表と呼吸持ちなどを自分の面質で担いく表現した。1 10分の音楽を呼吸がある。10分の音楽を呼吸がある。10分の考えや実持ちなどを自分の面質では、10分の表とで実持ちなどを自分の面質では、10分の表とで実持ちなどを見からないました。10分の表とで実持ちなどを見からないました。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表とで表現した。10分の表れで表現した。10分の表れで表現した。10分の表れで表現した。10分の表現しため、10分の表現した。10分の表現した。10分の表現した。10分の表現した。10分の表現した。10分の表現した。10分の表現した。10分の表現した。10分の表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のの表現しため、10分のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	(原料内容) 「原料内容) デ生たたとる言語についてデイカケッシュ デ生たたとる言語についてデオカケッシュ デ生たたとる言語について変われていて調査した結果を報告するプレセンテーシュ はまたい仕事とその理由について変われていせん。 (富語を動) 「富語を動 「電話を動 ・「選手であるの楽師表現を発く付ける。 を指する「選手であるの楽師表現を発く付ける。 説明する「地方」となっている。 説明する「地方」となっている。 説明する「地方」となっている。 説明する「地方」となっている。 説明する「地方」となっている。 はいる。 はいる。 はいる。
No.4	P58~P69	Lesson1	○Lesson 1 [知識] 推論する。質点・反対するとおの表現の形・原体・用法を理解している。 [技能] 予从代知職を用いて、推論する。質点 反対するとおの表現を 感知に、運用し、自分の考えや気持ちなどを担いく表現するが感じ着につい (しに8500 2 [日間] 主領する。推論する。質点・反対するともの表現の形・原体・用法を理解している。 [技能] 学人が知識を用いて、主領する、推論する。質点・反対すると 古の表現を選択に運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能 を考につけている。 (以間) 温潮 著書。、設得するときの表現の形・原体・用法を理解してい (は間) 学人が知識を用いて、推論する。説明するともの表現を起切に 運用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を身につけている。	○Lesson 1 郷面中状況を控解し、適切点表現を用いて、論理 等に描述したり、植物を表別する表別 したり、、自分の者子や原持ちどを詳しくを明して (Alesson 2 場面や状況を開助し、適切と表現を用いて、自分 では新たり対象を開かしたり、自分の考えや契持 などを担したり、自分の考えや契持 などを担したり、のでは、通りな表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現とのして、論理 のに直接したり、自分を表現と用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現を用いて、論理 のに直接したり、自分を表現している。	CLesson 1 自分の高速を開かっています。	【題材内容】 「相のグラ・建設計画に構成。という遠壁で展開されているデイベート、 (温田芸物) 明本物の返出で変数反似において、推論する・賛成する・反対する際の英語表現を身に 付ける。 「温上金融」 現実を保付ける。 高定数に返出者で表現反似において、主張する・推論する・賛成する・反対する際の英語 表現を保付ける。 高定数によめのスピーチにおいて、推論する・投稿する際の英語表現を身に付ける。
No.5	₽70∼₽77	Lesson4 調道結果のプレゼン デーション Lesson5 社会問題についてのス ビーチ	○Lesson 4 (知識) 報告する。望むときの表現の形・電味・用法を理解している。 (知識) 報告する。望むときの表現を創い。運用している。 日から考えや成功与立定を担い、後取する法理を終し、がている。 (知識) 説明する。主理する。と世界もどの表現の形・原味・用法を理解している。 (は新) 学んが知識を押いて、説明する。と世界も、世界すると述め、現を選切に運用し、自分の考えや契持ち立を詳し、表現する技能を身につけている。	○Lesson 4 棚中の加速で状況を理解し、適切な表現を用いて、1 30分~でに当て低いがら、2世代主場権 が出来した。1 30分~でに当て低いがら、2世代主場権 が持ちに対象した。 (Jesson 5 位のでは、1 20分を表や (Jesson 5 位のでは、1 20分を表 でした。1 30分でに対したが、計算を説明したり、自然を主張したり、提案したり、だ。自分の考 スト気持ちなど軽し人表現している。	○Lesson 4 自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用して、 「10分~でに沿って低しがら、さまざま場前 したが、場合から場合を応えつするために、自分の くしていました。 によっては、一般では、一般では、 にもいっていました。 自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用い たり、自然を主張したり、提案したりするためた。自 分の考えや気持ちなどを担く表現しよとしている。	(原材内容) 外国人の日本文化に関するアンケート調査とでの結果を報告するア・センテーション。 世界測量に関する問題点とその対応策について近くされているだーチ。 (富裕元素) 調査接単について、総告する・理望を述くる際の実践表現を身に付ける。 即断について、説明する・主張する・理望する際の実活表現を身に付ける。
No.6	P78~P90	Lesson6 仮定して推論する Lesson7 比較して説明する Lesson8 読み手を説得する	〇Lesson 6 [知識] 成定する、推論すると由の表現の形・趣味・用法を理解してい [知識] 成定する、推論すると由の表現の形・趣味・用法を理解してい (基限)、自分の考えや気持ちなどを担いく概定する技能を軽につかている。 [日期間] 比較する、類似点と相当点を説明するともの表現の形・趣味・ 用法を理解している。 [日期間] 上較する、類似点と相当点を説明するともの表現の形・趣味・ 用法を理解している。 (日期間] 土部する、説明するともの表現の形・趣味・用法を理解している。 (日本間) 手術する。説明するともの表現の形・趣味・用法を理解している。 (日本間) 手术が知識を用いて、土張する、説明するともの表現を紹示に (日本間) 手术が知識を用いて、土張する、説明するときの表現を確に (日本間) 手术が知識を用いて、土張する、説明するときの表現を確切に 瀬用し、自分の考えや気持ちなどを詳しく表現する技能を操につけている。	○Lesson 6 相手の加速性状況を理解し、適切な表現を用いて、存定したり、適理的に推議したりに、自分の考えや契約や32/22年(大規模している。 相手の加速性が変更が、選切な悪理を用いて、さまず34年の上で、対象は近相違位。 全級関したりに、自分の考えや契約を32/22年(人 表現している。 は、22/22年(人) を22/22年(人) を32/22年(人) を3	○Lesson 6 自分の活動を振り返り、薄切な表現を用いて、仮定 したり、薄壁やに重線したりするために、自分の考え や高性与なを自分の高温ではし、夜肌よとしてい くしにsson 7 自分の活動を終り返り、適切な実現を用いて、2ま 定式を組合から比較したり、解例点と目標を見かし したりするために、自分の考えで発持ちなを自分の 富工官はく原則にとしている。 へしたson 8 自分の活動を振り返り、適切な実現を用いて、論理 的注意能したり、相手を影響したりするために、自分 の表すを認めたの。	類外系―ムステイ(体験したことについて、日本の生品と比較しなが一番かれたたかせく。 個学経験を起た。日本にあったらいとと思うアメリカのスポーツに対する歌り組みについて書 かれたエフレー [富浩志動] 成立する・指摘する郷の英語表現を得に付ける。 上放する・構成の上低温点と説明する英語表現を発に付ける。 主演する・読み手を説明する際の英語表現を余に付ける。

論路表現Ⅲ NEW FAVORITE English Logic and ExpressionⅢ

ほとんど支援を活用することなく、基本的な語句や文を用いて、 1. 実際にあった質問や指えを終けること、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを選して伝え合うことができる。 2. 論理の構成や原則を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、誘して伝えることができる。 3. 論理の構成や原則を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。 学習の到達目標

レポート	教科書ページ	レッスン		評価の3観点		学習のポイント
No	教科書ページ	レッスン	知識·技能 A	思考·判断·表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	子音のポイント
No.1	P14~P25	Lesson1 Lesson2	Lesson1 (加加) 議論する、提案するときの表現の所・趣味・用法を理解している。 (提案) テルバ知識を用いて、議論する、提案するときの表現を選切に 瀬田ル、 自分の他ストルはからなど。 相手を説明することができるよう。 耳しく表表する経過を持っていて。 (2003) 個人的なことについて個人、気持ちを征えるときの表現の前・題 味・用法を響力に、「は知」 タルジ知道を押いて、個人的なことについて個人、気持ちを征えるときの表現を適か、連邦は、自分の近況について買り、気持ちを征えるとの表現を適か、連邦は、自分の近況について買りく気持ちを指定。 見つけている。	現を用いて,議論したり,提案したりして,自分の考 えや気持ちなどを,相手を説得することができるよう,	Lesson1 自分の活動を振り返りから、ある話態について、適 向分の活動を振り返りから、ある話態について、適 切る表現を用いて、主体的に高温したり、原実した している。 したっ している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 したっ している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 している。 したっ している。 してい。 してい。 してい。 している。 してい。 してい。 してい。 してい。 してい。 してい。 してい。 してい	・帰江政人に関てた近況を伝えるメールを解釈する。 (三暦日本語) ・『議論に必要な表現を学ぶ。 ・提示された問題に対する解決策を提案する。 ・組別の対比を関係していて耐人、
No.2	P26~P37	Lesson3 Lesson4	Lesson3 (1988年) 行動を存すたきの表現の形・簡単・用法を理解している。 (1版形) 学人が知識を用いて、助高する、行動を使すたきの表現を適切 に選用し、相手に対するアドバイを表現する技能を集任つけている。 (1版別) 学人が出議を用いた。要用・開発・用法を理解していた。 (1版別) 学人が知識を用いて、主報する、仮定するための表現を創形に 運用し、自分の考えや仮定・推測などを詳し、表現する技能を多くいけている。	て、助言したり、行動を促したりして、相手にアドバ	Lesson 2 自分の活動を振り返りが、適切に表現を用い て、主体的に動意にか、行動を促したりて、相 子、二件パイの特別を整備制によりたことができる。 ラ、一件パスの特別を整備制によりたびら にもssoni 自分の活動を振り返りながり、適切な表現を用い て、主体等に主側にか、成でによりて、自分の 考えや仮生・海側など自分の言葉で買い(表現よ ととしている。	(国際内容) - デードイスをする工程を解析する。 (書語にいてのスピー・デー語は、日本語では、「一学語に、ファドイスをする工程を解析する。 (国語活動) - アドイスの研究を学ぶる。 - 伊藤立な人に面示されたが、「一動を促す文を書く。 - 他のような、「一般などのようなと、」 - 他のような 「一般などのようなと、」 - 他のまたまなん 「一般などのようなと、」 - 他のなどのようなと、 「一般などのようなどのようないないないないないないないないないないないないないないないないないないない
No.3	P38~P49	Lesson5 Lesson6	LessonS (知識) 基本情報を伝える。詳細を伝えるときの表現の形・膨味・用法を 理解している。 (技能) 学人が知識を押いて、基本情報を伝える。詳細を伝えるときの 表現を選びに連邦し、相手に伝えるべきごと詳ぱく表現する技能を身に けている。 (と認らの) というには を若難している。 (技能) 学人が知識を押いて、別た目を推写する。イメージを伝えるとき の表現を選びに連邦し、理想の場所や時間について詳しく表現する技能を 身につけている。	している。 Lessonは 相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用い て、見た目を描写したり、イメージを伝えたりして、理 想の場所や時間についての詳細やそれに対する自分 の気持ちを、相手に理解してもらうことができるよう。	Lesson5 自分の活動を振り返りがから、適切な表現を用いて、主体的に基本情報を伝えたり、非単年伝えたり、人、用手に伝えたったと無難を打ないから、一分の高度で採して表現しましたした。 日かの活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、見た目を主を発しましたした。 日かの活動を振り返りながら、適切な表現を用いて、見た目を主を対しまりた。といっては新やそれに対する自分の表情を行いた。 りた、理想の場所や特徴についての話報やそれに対する自分の支持を、単手に重整してたらかさき。 まら自分の支持を、単手に重整してたらが、きるよう、自分の言葉で詳しく表現しよとしている。	(国起内容) ・ (地域内容) ・ (
No.4	P50~P61	Lesson7 Lesson8	LESSON 7 (知識) 特殊を説明する、説明するともの表現の形・趣味・用法を理解している。 [日報] 学んだ知識を押いて、特殊を説明する。説明するともの表現を 選切に適用し、日本の観光地について詳しく表現する技能を身につけている。 (LESSON 2 (日本) 1 (日本)	Lasson7 部等や知識や状況を開発し、適切を表現を用いて、特殊を提明したり、原物により、原物により、で、例をしてはいません。 おりてはい、実際してはいるとだっては罪し疾患 している。 している。 にもsson8 相手の加調や状況を提解し、適切な表現を用い たりに、自分の趣味について相手に理解してもうた こかできるよう。罪しく表現をしている。	12550円 からから高いではから、適切に表現を用いて、主体的に特定を認明した。以際にたなれて、 日本に付加っては、原理しては人、原理しては人とはして、 日本に付加っては、原理しては人とだとついて、 自分の高質ではく表現はよどとしていて、 自分の高数を振り返りながら、適切な表現を用いて、 で、そさだとついては特別に関加ったり、 添か手を ひきづはたりで、自分の動味について相手に理解 してもから上ができるよう。自分の高質ではく表現し しようとしている。	(国的内部)
No.5	P62~P67	Lesson9	10回回、分析する、評論するときの表現のが・意味・用法を理解している。 は接回、テルジ回路を開いて、分析する、評論するときの表現を選切に 適用し、物事に対する自分なりの分析や評論を詳しく表現する技能を向に 力でいる。	相手の知識や状況を理解し、適切な表現を用い て、分析したり、評論したりして、物事に対する自分 なかの分析や理論とついて相手に同意してもらうことが できるよう、詳しく表現している。	自分の活動を振り返りながら、適切な表現を用い て、主体的に分析したり、評論したりして、物事に 対する自分なの分析や評論について相手に同意し てもらふとができるよう。自分の霊業で詳しく表現し ようとしている。	(国料内等) - サルビオでやナルの評論を解釈する。 (国際活動) - ・最初とは無理を含めて落える文を作る。 - あるトピッケニンに、原因や因果関係を分析し、資料を使って自分の意見を主張する文 を作る。
No.6	P68~P80	Lesson10	[知識] 立論する、反駁する、意見をまとめて再主張するときの表現の 形・膨味・用法を理解している。 は接記・学がこの記録を用いて、立論する、反駁する、意見をまとめて再 主張するときの表現を感切に適用し、ディペートにおいて自分の考えや主張 などを詳しく表現する技能を身にづけている。	適切な表現を用いて,立論したり,反駁したり,意 見をまとめて再主張したりして,ディベートにおいて建	自分の活動を振り返りながら、ある話態について、適 切な表現を用いて、主体的に立論したり、反駁した り、原見をまとがて再主張したりで、ディートにお いて建設的な経過かできるよう。日かの考えや主張 などを自分の霊菓で詳しく表現しようとしている。	

	英文法入門1		
英語	単位数	2単位	
大品	スクーリング時数	8時間	
	レポート枚数	6枚	
学習目標	1. 英文伝の基礎的内容を復音すること うにする 2. 英語への苦手意識をなくすため、基础	で、 同校の子首内谷をスムースに導入できるよ	

学習内容	学習のねらい	レポート 番号	スクーリング	
1.名詞・代名詞 主語とBe動詞 代名詞	名詞、代名詞の意味を理解する。 単数・複数形の使い方を理解する。 主語とbe動詞の対応	1	1	石前の後数形(s, -es)・1(名前(土格、所有格、目的格、所有代名詞) Be動詞を使った文章 ba動詞の不定文・経盟文の作り方
2. 形容詞 動詞 ~ing形 (分詞・進行形)	形容詞とは 形容詞+名詞 動詞の使い方 現在分詞の意味 現在進行形・過去進行形の意味と 使い方	2	2	形容詞の意味 形容詞の位置 動詞の使い方 目的語をとる動詞ととらない動詞 進行形の形を理解する 進行形の否定文・疑問文の作り方
3. 過去分詞副詞	過去分詞の意味 受け身文の意味と作り方 副詞の意味と使い方	3	3	不規則動詞の活用の理解 受け身文の理解 (疑問文・否定文) 副詞の位置と意味の理解
4. 動詞 三人称単数 否定文・疑問文 動詞の過去形	動詞の意味と使い方 否定文・疑問文の作り方 三人称単数の意味の理解 不規則動詞の活用	4	4 5	動詞(三人称単数・過去形) 疑問文・否定文の作り方 動詞の活用
5. 時を表す副詞 現在形・過去形	主語と動詞を決めた英文の作成 現在・過去形の理解	5	6 7	不規則期間の活用の理解 受け身文と進行形の文の作り方 一般動詞の経則文・不完文の作り方
6. 動詞 疑問詞のある疑問文 助動詞の使い方	疑問詞のある疑問文の作り方 時制を捉えた英文の理解 助動詞の意味の理解	6	8	日本語から英文の時制を考える 疑問詞の位置を理解する 助動詞の使い方

英語	英文法入門2		
	単位数	2単位	
	スクーリング時数	8時間	
	レポート枚数	6枚	
学習目標	1. 英文伝の内谷を復首することで、高校の子首内谷をスムースに導入できるようにするよりにすると同時に 大学入学試験にも対応できるようにする 2. 英語へのステップアップを図るとともに、文法的事項の確認を行う。		

学習内容	学習のねらい	レポート 番号	スクーリング	内容理解
1. 動詞・時制 能動文と受け身文	時制の捉え方を理解する。 能動文と受け身文を理解する。 自動詞と他動詞の使い方 目的語の捉え方を理解する。	1	1	目動詞と他動詞の遅いを理解する。 文脈の中での時制を理解する。 現在完了形の考え方を知る。 副詞節の中での未来の表し方を理解する。 能動立と受け身立の相互関係を理解する。 作型は、動名詞の主語、目的語、細語を理解する。
2. 準動詞 不定詞・動名詞・ 分詞の働き	不定詞・動名詞の働きと意味を理解する。 現在分詞と過去分詞の働き 分詞構文の意味	2	2	不定詞・動名詞の主語、目的語、棚語を理解する。 It~for~toの使い方、不定詞あるいは動名詞しかとらない動詞の理解 分詞構文の作り方と音味を理解する。
3. 関係代名詞 関係副詞	関係代名詞の作り方 関係副詞の作り方 関係代名詞と関係副詞の違いを理解す る。	3	3	関係代名詞とその働き (主格・目的格・所有格) を理解する。 関係副詞 (前置詞+関係代名詞) を理解する。
4. 比較	原級・比較級・最上級の使い方 形容詞・副詞の比較の活用を理解す る。	4	4 5	原級・比較級・東上級を使った衣児ができるようにする。 比較の対象が同じになっているかに気を付け ス
5. 助動詞	助動詞の意味と働きを理解する。	5	6 7	ス 切割訓書+nave+ 迥玉万訶の息味と使い方を理解 できるようにする。 気を付ける助動詞 (agn/ will/ bod botter)など
6. 仮定法	仮定法過去 仮定法過去完了 仮定法未来 Ifの省略・Ifの代用としての仮定法	6	8	仮定法過去・仮定法過去完了の基本的な形をき ちんと理解できるようにする。 前置詞・不定詞・名詞で表す仮定法表現の仕方 を理解する。